

立野小の6月

低学年

1・2年生は、ダンスの掛け声や種目名を「カモンたてのっこ115」として115周年を運動会でお祝いしました。2年生の子どもたちは、クラスで考えたダンスやチェッコリ玉入れのダンスを1年生に伝え、1年生と一緒に楽しく踊りました。今年は、入退場から楽しめるようにダンスに少し変化をつけました。

曲に合わせて元気いっぱい踊り、まっすぐに精一杯走り、大きな声で応援し…と運動会を思いっきり楽しみました。

運動会の練習を通して1年生と2年生の仲がより深まってきました。



中学年

3・4年生の子どもたちは、「個性を彩る立野人の宝」を踊りました。

同じ階で学ぶ3、4年生。4年生が3年生にエイサーの振りを教えました。

今年は、テンポの速いダンスも取り入れ、伝統と流行を織り交ぜた演技に挑戦しました。

4年生は昨年の経験を生かして、回り方や手の向きなどポイントを押さえて3年生にコツを伝えていました。3年生はその教えに一生懸命に応じて、演技を仕上げてきました。本番では息の合った5分間になったと思います。

3年目になる立野エイサー。立野の新たな伝統になりつつあります。



高学年

5・6年生は、今年のスローガンのもと、心を一つにしてソーラン節と綱引きに取り組みました。実行委員を中心に思いを重ね、練習の成果を発揮し、力強い「ソーラン」の音が校庭に響き渡りました。

綱引きでも最後まであきらめず全力で挑む姿が輝いていました。



東京見学（6年生）

国会見学の後、江戸東京博物館へ行き、江戸時代から昭和までのくらしや町の様子を見学しました。実物大の模型や展示から、人々の工夫や時代の変化を学びました。昔のくらしを知ることで、今との違いに気付き、理解を深めることができました。

